

3. 新年度にあたり「ハイレゾは救世主に成りうるか」  
校條 亮治
6. AES ベルリン コンベンション報告  
亀川 徹
- 特集：マイクロホン
12. マイクロホンの基礎  
穴澤 健明
14. リボンマイクロホンの開発  
秋野 裕、鈴木 進吾
20. 音響遮蔽板を利用したマルチチャンネルワンポイント  
球形マイクロホン 小野 一穂、西口 敏行、松井 健太郎
26. リアキャンセル マイクロホン CSR-2 について  
盛田 章
31. ソニー業務用コンデンサマイクロホン 「C-800G」  
村上 佳裕
- 連載 『試聴室探訪記』 第 23 回 谷口 ともり・森 芳久
37. ～谷口ともり、魅惑のパノラマ写真の世界～  
T 氏のオーディオ&ホームシアタールーム訪問
- JAS インフォメーション
41. 平成 25 年度第 6 回 (平成 26 年 3 月) 理事会・運営会議報告

#### 5月号をお届けするにあたって

爽やかな日々が続いておりますが、気温も上がりそろそろ梅雨も近いか、という時期になりました。新年度が始まって2ヶ月ほど経ちましたが、オーディオ業界の動向を振り返りつつ、今後の課題や協会の取り組みと抱負について、校條会長の「新年度にあたり」を掲載させていただきました。6月には総会も予定されており、JASの活動計画についてより詳しくお伝えする予定です。

4月に開催されたAESのベルリン コンベンションの報告を東京芸術大学の亀川氏に寄稿いただきました。筆者は「ヘッドホンのための音をどうやって作成するか？」というワークショップにチェアとして参加されました。JAS技術会議で取組んでいるテーマとも深く関連しますが、重要度を増しつつあるヘッドホン視聴への関心が、世界的にも高まっているように感じられます。

本号ではマイクロホンの特集いたしました。リボンマイクロホン、マルチチャンネル用ワンポイント球形マイクロホン、リアキャンセル・ガンマイクロホン、真空管式コンデンサマイクロホンなどにつきまして、オーディオテクニカ、三研マイクロホン、NHK、ソニーの方々から寄稿いただきました。特集のはじめに「マイクロホンの基礎」として簡単な解説を加えましたので、これと併せて最新の業務用マイクロホンの動向をお読みいただければと思います。連載の「試聴室探訪記」では個人のリスニングルームを訪れました。

#### ☆☆☆ 編集委員 ☆☆☆

(委員長) 君塚 雅憲 (東京芸術大学)

(委員) 穴澤 健明・稲生 眞 ((株) 永田音響設計)・大久保 洋幸 (日本放送協会)

高松 重治 (アキュフェーズ (株))・春井 正徳 (パナソニック (株))・森 芳久・八重口 能孝 (パイオニア (株))

山崎 芳男 (早稲田大学)・米田 晋 ((株) ディーアンドエムホールディングス)